

平成 29 年度 公益財団法人加古川総合保健センター

事業報告書

1. 事業の経過及びその成果
2. 主要な設備投資の状況
3. 主要な事業内容
4. 理事会等に関する事項
5. 許認可等に関する事項
6. 役員等に関する事項
7. 事業報告の附属明細書

公益財団法人加古川総合保健センター

平成 30 年 6 月 4 日

事業報告

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

1. 事業の経過及びその成果

公益法人として、健康づくり支援と公衆衛生の向上を図る取り組みとして、地域保健医療情報事業においては、システムに蓄積されているデータ等を用いて統計・分析処理を行い、有効なデータを解りやすく発信するとともに、健康セミナー・健康関連イベント・健康づくり・健康診断など様々な健康関連情報についても、地域住民の健康づくりに活用頂けるようホームページにて情報提供を行った。

健康診断事業においては、特定健診では、案内の分散化や申込みが集中しないよう配慮し、巡回健診での受診機会を増やし、より多くの地域住民が受診できるよう受診環境の整備を行った。また、住民の方を対象とした新たながん検診として、平成29年度より、胃内視鏡がん検診、胸部CT検査、乳腺エコー検査、前立腺がん検査を開始した。事業所健診では、診察医師複数体制の受診日を増やし定期健診や協会けんぽ健診の受診者増を図った。人間ドックでは、新たな健保組合との契約等により受診者増を図った。学校健診では、児童生徒数の減少等により、受診者数は減少となった。

臨床検査事業においては、医療機関の検体数について、9月に開業された医療機関から新規利用を獲得したが、病医院の閉院等により減少となった。健診事業の検体数については、外注検査等の増加により増加となり、事業全体としては昨年度より検体数増となった。

介護保険事業においては、要介護認定調査で、播磨町の新規及び区分変更の認定調査を新たに受託し、当初計画数以上の目標を達成することが出来た。

さらに、行政主催の健康関連イベントに積極的に参加し、簡易検診等を通じて地域住民に健診の受診啓発活動を行なうとともに、子育て世代の女性を対象として、加古川市乳児検診参加者に、子宮がん、乳がん検診等の有用性や受診の必要性について啓発活動を行った。また、健康イベントとして、平成29年9月9日に「市民公開講座がんセミナー」、平成30年2月11日に加古川医師会・播磨歯科医師会・播磨薬剤師会と合同で「第3回ウェルネージかこがわ健康フェア」を開催し、多くの地域住民が参加された。

I.公益目的事業	予算額(千円)	決算額(千円)	達成率(%)
地域保健医療情報に関する事業	100,764	100,764	100.0
健康診断等に関する事業	1,106,732	1,041,987	94.1
臨床検査等の検査に関する事業	585,596	580,939	99.2
II.収益事業	予算額(千円)	決算額(千円)	達成率(%)
介護保険に関する事業	30,240	31,139	103.0
不動産貸付等事業	4,089	4,078	99.7

2. 主な設備投資等の状況

機器関係	取得額(千円)	資産名称等
情報機器関係	13,419	かこがわ健康BOXハードウェア、プロジェクタ 等
健診機器関係	4,765	スパイロメーター、パソコン、紙折り機 等
検査機器関係	684	血中アンモニア測定器、保冷库 等
管理機器関係	160	大判プリンター
ソフトウェア関係	16,114	巡回データ取込機能追加、特定健診システム変更、健診データ収集システム変更、意見書作成システム強化 等
合計	35,142	

3. 主要な事業内容

(1)公益目的事業

健康診断・臨床検査等を通じて収集・蓄積した保健医療情報について、医療・行政機関などでの共有等を可能とするため構築した「地域保健医療情報システム」を維持管理し、健康づくりを支援する事業については以下の通りである。

1) 地域保健医療情報に関する事業

健康に関する知識啓発や地域住民の健康づくり支援のため、健康に関するイベントの開催や情報等の情報発信・公開のための「地域保健医療情報システムだより」を11月30日、3月20日に発行した。

① システム運用管理事業

- (ア) 参画医療機関数 (131 機関)
- (イ) システム登録者数 (163,768 名)
- (ウ) カインドカード発行枚数 (49,553 枚)
- (エ) システム新規参画医療機関数 (3 機関)
- (オ) 感染症情報提供ホームページへアクセス件数 (94,092 件)
- (カ) システム利用促進キャンペーン
参画医療機関への利用促進と住民への普及定着を促進するキャンペーンを実施し、特定健診用加入案内文を5/12～6/15にかけて83機関1,660枚配布した。
- (キ) 参画ドクター会議
システムを活用した事例発表や連携・情報交換を目的とした参画ドクター会議を平成30年2月17日に開催した。
- (ク) 地域住民に取材、動画を作成し保健センターHP上で公開した。
- (ケ) 地域保健医療情報システムについて J I C A 視察対応 (6月16日)

② システム事業

- (ア) 1年間のシステム利用状況 システム画面利用回数 494,135回 (月平均41,178回)
- (イ) システムの通信基盤である IP-MEMBERS を活用した利用環境に関して回線の変更やレセプトオンライン請求に係る電子証明書更新作業を22機関で実施した。

③ 各種委員会の開催

- (ア) 地域保健医療情報システム運営委員会 (7月11日、12月18日開催)
- (イ) 三行政主管課長会議 (6月7日、10月5日開催)
- (ウ) プライバシーポリシー検討委員会 (11月17日開催)

④ ICT 利活用広域連携事業「かがわ健康BOX」

- (ア) 新規利用者の増加 (282名)
- (イ) ホームページによる情報発信 (セミナー・イベントに関する情報11件、健康づくりに関する情報18件、健康診断に関する情報等3件)
- (ウ) システム登録者フォローアップ (電話86件、訪問38件、メール2件)
- (エ) 4ヶ所のイベント・講演会等で、848枚案内チラシを配布した。
- (オ) 5ヶ所の事業所巡回健診で、1,353枚案内チラシを配布した。

⑤ システム更新作業

システムに関する意見集約を行い、要望が最も多かった主治医意見書について、画面表示内容と見やすさを改善し画面視認性を高める改良を3月に実施した。

2) 健康診断等に関する事業

① 特定健診・特定保健指導・がん検診等の実施状況

- (ア) 環境整備・・・健診案内の分散化により、申込み電話が集中しないように配慮した。また受診枠の拡張や巡回健診での実施枠を増やし、より多くの住民が受診できる環境を整備した。
- (イ) 受診機会の確保・・・稲美町・播磨町の住民の方への利便性と受診機会を確保するため、公民館等での巡回健診実施や送迎バス運行を行ない、受診機会に配慮した。
- (ウ) 胃内視鏡がん検診の開始・・・医師会専門医と1市2町とで胃内視鏡運営委員会及び胃内視鏡読影委員会を設置し体制を整備したうえで初年度は478名が受診した。
- (エ) 住民対象のがん検診・・・胸部CT検査、乳腺エコー検査、前立腺がん検査を新たに開始した。
- (オ) その他・・・日本乳がんピンクリボン運動ジャパンマンモサンデーに合わせ10月15日(日)に乳がん・子宮がん検診と各種がん検診、特定健診を実施し、受診率向上に努めた。
- (カ) 特定保健指導
国保や組合健保と個別契約を結び保健師、管理栄養士により105名実施した。
 - ・動機付支援82名 (男性42名、女性40名)
 - ・積極的支援23名 (男性21名、女性2名)
- (キ) 糖尿病改善予防教室
加古川市国保加入者で糖尿病のリスクが高い方を対象に65名が参加した。

健診名	H29年度 計画数	実績数	達成率 (%)	加古川市	稲美町	播磨町	国保外
特定健診(集団)	11,800	11,362	96.3	7,251	807	1,204	2,100
特定健診(個別)	15,000	12,663	84.4	10,576	963	1,124	-

肺がん検診	15,080	11,336	75.2	8,824	947	1,565	-
胃がん検診	7,000	5,200	74.3	4,181	418	601	-
胃がんリスク検査	4,000	1,383	34.6	860	41	482	-
大腸がん検診	18,000	12,872	71.5	10,218	1,034	1,620	-
子宮頸がん検診	3,000	3,313	110.4	2,720	235	358	-
子宮がん個別検診	1,500	991	66.1	862	62	67	-
乳がん検診	8,500	4,482	52.7	3,751	282	449	-
骨粗しょう症検診	5,300	5,001	94.4	4,044	376	581	-
胃内視鏡検査	500	478	95.6	358	41	79	-
胸部CT検査	500	692	138.4	598	37	57	-
乳腺エコー検査	300	378	126.0	290	18	70	-
前立腺がん検査	2,000	2,113	105.7	1,727	156	230	-
合計	92,480	72,264	78.1	56,260	5,417	8,487	2,100

② 事業所健診の実施状況

- (ア) 施設健診・・・協会けんぽと連携し受診勧奨活動を行った結果、受診数が増加した。
- (イ) 巡回健診・・・新規事業所2社と契約した。また協会けんぽと連携した受診勧奨活動の一環として、商業施設で巡回健診を実施した。
- (ウ) ストレスチェック制度対応・・・2,000名超規模の事業所との契約解除の結果、受診数は減少したが、リピート受診勧奨と新規顧客を獲得でき、1,320名の減に止めた。
- (エ) その他・・・協会けんぽ健診の受診数増加に伴い、大腸がん・子宮がん・乳がんの受診数は増加したが、胃がん検診は減少傾向が続いている。

健診名	H29年度 計画数	実績数	達成率(%)	H28年度 実績数	対前年度 実績 増減数
定期健康診断	35,000	32,406	92.6	32,551	-145
協会けんぽ健診	18,500	17,882	96.7	17,153	729
特殊健診	13,800	15,022	108.9	13,882	1,140
胃がん検診	15,000	12,678	84.5	12,923	-245
大腸がん検診	24,500	22,747	92.8	22,124	623
子宮がん検診	2,500	2,828	113.1	2,727	101
乳がん検診	2,150	2,471	114.9	2,411	60
腹部超音波検査	1,000	1,294	129.4	1,236	58
眼底検査	6,700	7,490	111.8	7,241	249
ストレスチェック	20,000	18,153	90.8	19,473	-1,320

③ 人間ドックの実施状況

1日人間ドックのオプション検査として、近隣病院と連携し、脳検査を追加した。また、新たな健保組合との契約により、人間ドック8コースで66名の受診増となった。

健診名	H29年度 計画数	実績数	達成率(%)	H28年度 実績数	対前年度 実績 増減数
2時間ドック	2,000	1,579	79.0	1,563	16
1日ドック	2,800	2,842	101.5	2,735	107
新コースドック	800	317	39.6	374	-57

④ 学校健診の実施状況

加古川市、稲美町、播磨町の幼稚園28園、小学校38校、中学校17校、高等学校38校、大学2校の計123校を対象に結核検診、心臓検診、腎臓検診、運動器・脊柱側弯検診を実施した。児童生徒数の減少と、近隣の高等学校1校との契約解除により実績数は減少した。

健診名	H29年度 計画数	実績数	達成率(%)	H28年度 実績数	対前年度実績 増減数
結核検診	8,500	8,051	94.7	8,524	-473
心臓検診	19,600	19,169	97.8	19,972	-803
腎臓検診	53,850	52,569	97.6	53,561	-992
脊柱側弯検診	6,400	6,378	99.7	6,324	54
運動器検診	7,000	6,897	98.5	7,001	-104

⑤ がんの発見状況

(平成30年5月21日現在の状況)

検診名	受診数	要精検者数	要精検 率(%)	精検 受診数	精検受 診率(%)	がん発見数
胃がん検診	5,200	420	8.1	274	65.2	6
胃がんリスク検査	1,383	389	28.1	213	54.8	4
肺がん検診	11,336	416	3.7	352	84.6	3
子宮がん検診	3,313	18	0.5	16	88.9	0
乳がん検診	4,482	245	5.5	221	90.2	15
大腸がん検診	12,872	789	6.1	563	71.4	35
胃内視鏡検診	478	59	12.3	28	47.5	4
胸部CT検査	692	37	5.3	31	83.8	1
乳腺エコー検査	378	65	17.2	56	86.2	2
前立腺がん検診	2,113	140	6.6	87	62.1	9

⑥ 1.5倍利用拡大プロジェクトの活動状況

健診事業として、利用率アップを目標に下記の8項目のアクションプランに取り組んだ。地域住民対象のがん検診受診率アップにはつながらなかったが、事業所健診(がん検診を含む)利用率はアップした。

健診結果即日報告システムは、平成30年度より始まる特定保健指導当日実施の準備として整った。

CS向上については平成 30 年度への課題として継続していく。

- 1) 健診結果即日報告
- 2) 加古川労働基準監督署管内事業所利用率UP
- 3) スーパー健診受診率UP
- 4) CT検査利用率UP
- 5) 顧客満足度 (CS) UP
- 6) がん検診受診率UP
- 7) リピート受診率UP
- 8) 脳ドックオプションによる受診率UP

⑦ 集団健康教育、健康相談等

(ア) 集団健康教育

加古川市、稲美町、播磨町の委託事業として医師講演会を 11 回実施。また、事業所向けに医師講演会 1 回、管理栄養士講演会 3 回実施した。

(イ) 健康相談

- ・ 健診時に生活・栄養指導コーナーを設け、保健師、管理栄養士が指導を実施した。
- ・ 毎週月～土曜日に電話、来所による健康相談 (141 名) を実施した。

3) 臨床衛生等の検査に関する事業

① 検査事業における重点施策

(ア) 1.5 倍利用拡大プロジェクトの活動内容

検査事業ではアクションプランとして「検体獲得のための新規・既存医療機関への営業活動」について取り組んだ。その結果、9 月に開業された医療機関からの利用を獲得した。平成 29 年度の訪問回数は 267 件 (目標: 390 件)、達成率は 68.5%となっている。また、2/15 に開かれた播磨歯科医師会の口腔細胞診の勉強会に参加し案内を行った結果 3 月末で歯科医院から 8 件の検査依頼があった。

(イ) 医療機関の検査、健診の検体について

- ・ 5/8 より、「アルブミン」の緊急・至急検査扱い開始と「アンモニア」の測定法を変更した。
- ・ 6/26 より、「クレチニン・クリアランス推算値 (eCcr)」を開始した。
- ・ 7 月に「検査課だより (第 9 号)」を発行し「non HDL コレステロール」の解説を掲載した。また、平成 30 年 2 月には「検査課だより (臨時 第 2 号)」を発行し「検体の溶血・乳び」の解説を掲載し医療機関とのコミュニケーションを図った。

(ウ) 精度管理や品質管理の継続的運用について

内部精度管理の実施や外部精度管理調査への参加により、精度の維持向上に努めると同時に、品質管理マネジメントシステムを適切に機能させ、苦情発生件数が僅かだが減少 (4 件) した。

(エ) 検査データ WEB 配信システムについて

検査データ WEB 配信システムの利用登録機関は 9 医療機関の新規利用があり、現在 62 医療機関となった。WEB 配信システムによる結果参照の迅速性、電子カルテへのデータ登録の利便性等について PR を行なうことにより利用拡大を図った。

(オ) 外部精度管理の結果

下記の外部精度管理に参加し、概ね良好な結果を得た。

調査名	開催日	調査対象部門	評価
日臨技精度管理調査	平成 29 年 6 月	検査全体	99.5 %

日本医師会臨床検査精度管理調査	平成 29 年 9 月	生化学・血液学・免疫学	99.5 点
兵庫県臨床検査精度管理調査	平成 29 年 11 月	検査全般	A 良好
労働衛生検査に関する精度管理調査	平成 29 年 10 月	有機溶剤・鉛	A
全国労働衛生団体連合会精度管理調査	平成 30 年 2 月	生化学・血液学・尿一般	A

② 検査事業による事業実施数

(ア) 医療機関の検体検査

2 医療機関が閉院、1 病院が休診、1 病院が縮小したため全体的に減少となった。全体では対前年度で 14,485 件の減少、達成率は 92.3%であった。

医療機関の部門別検体数実施状況

(単位：件)

部門	H29 年度 計画数	実績数	達成率(%)	H28 年度 実績数	対前年度 実績増減数
生化学Ⅰ	187,000	176,727	94.5%	182,466	-5,739
生化学Ⅱ	9,500	8,387	88.3%	8,622	-235
血液学	179,500	170,854	95.2%	176,627	-5,773
免疫学	72,500	66,197	91.3%	69,446	-3,249
尿・糞便	15,000	13,522	90.1%	13,644	-122
微生物学	26,000	25,156	96.8%	24,784	372
細胞診	11,500	8,964	77.9%	9,225	-261
病理組織学	3,865	3,655	94.6%	3,437	218
アレルギー検査	4,000	4,083	102.1%	3,933	150
特別検査	56,000	48,936	87.4%	48,862	74
外注検査(件数)	53,000	43,966	83.0%	43,886	80
合計	617,865	570,447	92.3%	584,932	-14,485

(イ) 健診事業の検体検査

尿・糞便検査は学校腎一次検診を本年度より検査課で測定(47,157 件)することとなったため大きく増加した。また、外注検査はウイルス抗体検査の実施により増加した。全体では対前年度で 52,750 件の増加となった。

健診の部門別検体数実施状況

(単位：件)

部門	H29 年度 計画数	実績数	達成率(%)	H28 年度 実績数	対前年度 実績増減数
生化学Ⅰ	84,880	74,800	88.1%	74,649	151
生化学Ⅱ	7,600	6,944	91.4%	6,808	136
血液学	86,430	74,786	86.5%	74,611	175
免疫学	6,450	5,974	92.6%	5,863	111
尿・糞便	101,550	89,848	88.5%	42,732	47,116

微生物学	370	374	101.1%	419	-45
細胞診	7,820	9,641	123.3%	9,457	184
病理組織学	20	47	235.0%	15	32
特別検査	10,750	12,091	112.5%	11,402	689
外注検査(件数)	17,550	25,086	142.9%	20,885	4,201
合計	323,420	299,591	92.6%	246,841	52,750

(ウ) その他 (事業所診療所、地域外医療機関、福祉施設等)

その他の部門別検体数実施状況

(単位：件)

部門	H29年度 計画数	実績数	達成率(%)	H28年度 実績数	対前年度 実績増減数
生化学Ⅰ	4,500	3,746	83.2%	4,503	-757
生化学Ⅱ	50	52	104.0%	37	15
血液学	4,200	3,703	88.2%	4,243	-540
免疫学	2,400	2,214	92.3%	2,372	-158
尿・糞便	3,000	3,714	123.8%	2,989	725
微生物学	600	283	47.2%	493	-210
細胞診	30	27	90.0%	28	-1
病理組織学	15	7	46.7%	18	-11
アレルギー検査	50	36	72.0%	37	-1
特別検査	2,150	2,408	112.0%	2,212	196
外注検査(件数)	2,000	1,927	96.4%	1,570	357
合計	18,995	18,117	95.4%	18,502	-385

(2)収益事業

1) 介護保険に関する事業

① 要介護認定調査事業

平成29年4月より、播磨町の新規、区分変更の認定調査を新たに受託し、認定調査員13名体制で調査員のレベルアップに向けた研修会や情報の共有化を図り、当初計画数を上回る実績となった。

事業名	H29年度 計画数	実績数	達成率 (%)	H28年度 実績数	対前年度実績 増減数
要介護認定調査	4,000	4,108	102.7%	3,700	408

2) 不動産貸付等の事業について

① 不動産貸付

(ア) テナント貸付

健診受診者等来館者の利便性を配慮し1階テナント部分を飲食店に賃貸している。

貸付料 2,721 千円 (年額)
 (イ) 駐車場賃貸
 ウェルネージかこがわ立体駐車場の一部を加古川医師会等に賃貸している。
 賃貸料 1,260 千円 (年額)

② 駐車場の提供

ウェルネージかこがわ立体駐車場は、業務時間内は健診受診者等の利用に充てているが、業務時間外の夜間・休日は、誰でも利用できるように配慮している。

(3) その他

1) 行政等のイベントへの保健センターブースの出店

イベント名	開催日	利用者数 (延べ人数)
はりま風薫るフェスタ(播磨町)	平成 29 年 4 月 29 日	395 人
稲美ふれあいまつり(稲美町)	平成 29 年 5 月 3 日	379 人
加古川俊足王決定戦(加古川市)	平成 29 年 5 月 4 日	299 人
はりますくすくベビーフェスタ	平成 29 年 7 月 17 日	126 人
加古川市民スポーツカーニバル(加古川市)	平成 29 年 11 月 4 日	129 人
加古川ソーデーマーチ(加古川市)	平成 29 年 11 月 11、12 日	928 人
合 計	7 日間	2,256 人

2) 職員の資質向上への取り組み

① 新人研修

新人職員を対象に 4 月に事業概要、就業規則、各種規程、接遇・電話対応、個人情報保護、安全衛生等について研修を実施した。

② 管理職研修

主任・係長職を対象に外部講師による基礎的マネジメント能力の習得、1.5 倍化 P J 目標達成のための管理者研修を実施した。

③ 安全運転研修

職員を対象に年 3 回 (4 月・9 月・1 月) 「ヒヤリハット事例報告、DVD による視聴覚研修」「ハザードマップ (危険予測個所) の作成」「兵庫県加古川警察署員による講話、DVD による視聴覚研修」を実施した。

④ 防火防災訓練

職員を対象に年 2 回 (8 月・2 月) 加古川中央消防署・加古川市危機管理室の指導により、火災や地震の際に迅速かつ適切な消火活動及び来館者の避難誘導が出来るよう防火防災訓練を実施した。

⑤ 出張研修

健診事業に関する放射線技師、検査技師、保健師、看護師等専門職を対象とした研修 94 件、検査事業に関する研修 21 件、情報発信部門 4 件、管理部門における公益法人等の研修 18 件、保健センター全体で 137 件の出張研修を実施した。

3) 広報紙「へるす」の発行

地域住民の公衆衛生向上のため、また地域住民への情報発信の充実を図る手段として、健康情報や保健センターイベント等の紹介を綴った広報紙「へるす」を、年2回260,000部発行し、加古川市・稲美町・播磨町へ全戸配布を行った。

4) 健康イベントの開催

① 「市民公開講座がんセミナー」

- i) 日時 平成29年9月9日(土) ウェルネージホール
- ii) 講師 加古川中央市民病院 寺尾 秀一 先生
- iii) 講演テーマ 「もっと知ってほしい胃がんのこと～あなたの胃がんリスクは大丈夫?～」
- iv) 内容 講演会と医療専門スタッフによる説明会
- v) 参加者数 講演会：173名、説明会：114名

② 「ウェルネージかこがわ健康フェア」

- i) 日時 平成30年2月11日(日) ウェルネージかこがわ1階～2階
- ii) 主催 三師会(加古川医師会、播磨歯科医師会、播磨薬剤師会) 合同実施
- iii) 講師 おはようパーソナリティ 道上 洋三 氏
- iv) 講演テーマ 「生涯現役!～心もからだも健康に～」
- v) 内容 加古川医師会「身近な病気“糖尿病”～定期的なチェックと自己管理が大切です～」、播磨歯科医師会「歯科医師による歯科健診」「唾液検査サリバリーマルチテスト」、播磨薬剤師会「こども薬局」等の講演会等や駅チカLABO、簡単健康チェック、各種健康相談等を実施した。
- vi) 参加者数 1,114名(イベント参加延べ人数)
保健センター講演会：387名、医師会講演会：219名、薬剤師会：41名
歯科医師会(歯科医師による歯科健診、唾液検査サリバリーマルチテスト)：94名、
簡単健康チェック：182名等

5) 施設見学、視察等について

年間を通じ地域内外の各種団体やホームページの「大人の社会見学」等により延べ251名(9団体)の施設見学や視察を受け入れた。

6) 組織の状況

保健センターの職種別の組織体制は下記の通り。

職種別職員等構成内訳		(平成30年3月31日現在)		
職種	職員	嘱託職員	臨時職員	合計
医師	0名	3名	0名	3名
保健師	7名	0名	0名	7名
看護師	4名	1名	25名	30名
管理栄養士	2名	0名	4名	6名
診療放射線技師	7名	0名	0名	7名
臨床検査技師	24名	1名	23名	48名
介護支援専門員	2名	0名	11名	13名
事務職等 (健診助手・集配員含む)	35名	2名	97名	134名
合計	81名	7名	160名	248名